

クイーン倶楽部だより 4月号

2019年

第194号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
 新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
 TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
 URL <http://www.eco-rice.jp/>
 E-mail office@eco-rice.jp



農業にドローンを使い、コスト低減と収量増加の技術を学びました！

近い将来、
農業にもロボットが!?

新潟県
山田錦
協議会

お掃除ロボット
型草刈り機

研修会を行いました

平成31年産の米づくりは、すでに始まっています。3月1日、長岡市の長岡工業高等専門学校にて、生産者や農業に関わる企業、工業高等専門学校生が参加し、研修会を行いました。

米どころ長岡の高専生のアイデアを米づくりにも活かさないかと、ロボカップ世界大会で優勝した学生からプレゼンテーションをしてもらいました。

また、吉本興業の子会社の「よしもとロボット研究所」から講演をしていただきました。

これからの農業にロボットを導入していくことで、農業の未来に期待が大切です。



学生によるプレゼンテーション

よしもとロボット研究所について

- 2014年6月設立
吉本興業（株）100%子会社
2017年12月「アグリイノベーション」賞受賞
- 2017年2月
Peper（10Xサイバーパートナー）
第1号に認定
- 2017年3月
第一回「Partner of the Year」表彰

よしもとロボット研究所の特別講演



中村 信也 (なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学名誉教授。まほろば東京クリニック院長。
「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者。

ドクタ "N" の 私にも一言言わせて

その 48

※ドクタ...英語で博士の意味

常に上昇政策の無理

内閣府発表の「世界経済の潮流」による本年の世界経済の見通しが、新聞のトップに載りました。それによると、17年は世界の貿易量の成長率は前年比4.9%伸びて、18年は5.1%の伸びの予測という記事です。

いつも思うことですが、経済は毎年伸び続けること自体が無理なことなのです。現世では売上げも人口も毎年伸び続けたいといけないという上昇思想が常識化しています。人口爆発の真最中に、経済成長で増え続ける人口を養うという人口増加策は賢明ではありません。

自然の世界では高過ぎ・多過ぎは削いで削減するという平坦力が働きます。崖崩れは高過ぎを削り、低過ぎを是正する地球原理です。東北大地震もプレート是正現象で生じたものです。地球温暖化も氷河期と間氷期の是正の中での現象でしょう。

日常では給料は毎年上がらねばならない、会社は毎年収益を増加させねばならないという自然現象の中での一環です。会社は新しいものに挑戦し、旧たる事業の自然減を補って維持できています。収益も給料も昨年並みでよいのであって、毎年の増益給与増ではいつかは息切れして疲労倒産することになります。

自然も会社も「現状維持は美しい」を肝に銘ずべきです。世界経済では、経済成長する国もあれば、落ち込む国もあり、全体では昨年とはプラマイゼロが健全なのです。

江戸時代は徹底した鎖国政策で、約二百年八十年間経済成長ゼロ、人口は三千万人に保ち、欧米列強に植民地化されることなく、平和を守り通してきました。移民で増やし、経済成長を保つという無理政策より、人口減に合わせ、二十四時間営業、翌日配達のようなやり過ぎは正がこれからの課題です。